プレスリリース

2021年9月28日

KYOTO STEAM －世界文化交流祭－　MUTEK.JP

2021. 10. 22. 共同プロジェクト２年目 始動！

NAQUYO#5 オンライン・トークプログラム

平安遷都の日2021－平安宇宙の「音」を聴く－

の開催について

（NAQUYO 2021年度キービジュアル）

※NAQUYO　読み：ナクヨ

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとする文化・芸術フェスティバルKYOTO STEAM－世界文化交流祭－では、最先端テクノロジーを用いた電子音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催するMUTEK.JPと連携し、2020年度－2021年度の2箇年度に渡る共同アート・プロジェクト**「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－ KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK.JP」**に取り組んでいます。

2020年度のNAQUYO#1～#4の取組に続く、2021年度アウトプットプログラム第１弾として、**NAQUYO#5 「平安遷都の日2021－平安宇宙の「音」を聴く－」を、平安遷都の日（10月22日）に開催**しますので、お知らせします。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

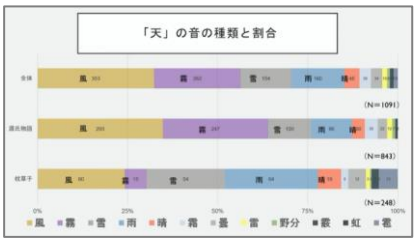
京都市 CITY OF KYOTO
文化庁
令和３年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
MUTEK.JP 公式WEB

実施内容

NAQUYOプロジェクトを通じて調査・収集した1200年前の京都（平安京）の「音」と、現在の京都に息づく「音」に焦点をあて、未来の京都へつなぐ音の環境について考えるトークプログラムを実施します。

第１部では、2020年度から京都芸術大学 歴史遺産学科の協力のもと調査研究を進めている「平安の音」について、歴史遺産学科の学生の皆さんから2021年度の調査報告を行っていただきます。今年は４つのテーマから平安の音にアプローチ。それぞれの調査結果から導き出される古と未来の京都の音環境について考察します。

第２部では、ラジオ・ドキュメンタリーの専門家であるヤスパゼン・マルテ氏（京都産業大学名誉教授）をゲストに迎え、「都市が奏でる歴史の音」をテーマにフリーディスカッションを展開します。「文化としての音」という観点から議論を深め、アートプログラムに留まらないNAQUYOプロジェクトの可能性、そして未来の京都へのメッセージを紡ぎ出します。



ともに「NAQUYO#2」（2020.12.19）での京都芸術大学歴史遺産学科研究発表より

【開催日時】　令和３年１０月２２日（金）12時30分配信開始（15時終了予定）

【プログラム】

１．オープニング・トーク　－KYOTO STEAMとは、NAQUYOとは－

２．第１部　調査発表　－「平安の音」調査研究－

テーマ①　平安期から変わらない京都の「音」
テーマ②　音なき「音」－鬼の声，神の声，神仏の音
テーマ③　平安京の人々の心情表現としての「音」
テーマ④　平安期における神聖な「音」
テーマ⑤　過去から受け継がれた音を保存するために、現代の私たちができることは？

３．第２部　フリーディスカッション　－都市が奏でる歴史の音－

４．クロージング　－今後のNAQUYOプロジェクト－

【出　演】

総合司会　谷崎 テトラ（放送作家／KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会チーフディレクター）
第１部　中川 真（音楽学者／大阪市立大学都市研究プラザ特任教授）
長屋 和哉（サウンドアーティスト）
仲 隆裕（京都芸術大学歴史遺産学科学科長兼教授）
京都芸術大学歴史遺産学科の学生の皆さん
第２部　中川 真
長屋 和哉
【ゲスト】ヤスパゼン・マルテ（京都産業大学名誉教授）

【開催方法】KYOTO STEAM公式YouTubeチャンネルから生配信
URL　https://youtu.be/S3Hlun1IL3w

左のQRコードからアクセスいただけます。

【視聴方法】どなたでもお持ちのデバイスで自由に視聴していただけます。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市 CITY OF KYOTO
文化庁
令和３年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
MUTEK.JP
公式WEB

出演者プロフィール

谷崎 テトラ（たにざき てとら）　【総合司会】

環境・平和・アートをテーマにしたメディアの企画構成・プロデュースを行う。価値観の転換（パラダイムシフト）や、持続可能社会の実現（ワールドシフト）の発信者&アーティストとしての活動は多岐に渡る。アースデイ東京等の環境アクションの立ち上げや、国連地球サミット（RIO＋20）等国際会議のNGO参加、SDGs、ピースデー（国際平和デー）等への社会提言・メディア発信に関わる等、持続可能な社会システムに関して深い知見と実践の経験を持つ。YouTube「テトラノオト」で持続可能性や創造性についての動画ブログを毎日更新している。
HP： http://www.kanatamusic.com/tetra/
YouTube：https//www.youtube.com/c/テトラノオト

中川 真（なかがわ しん）【第１部・2部出演】

アジアの民族音楽、サウンドスケープ、アーツマネジメントを研究するかたわら、「現代アートの森」芸術監督（2000-2008）、楽舞劇『桃太郎』芸術監督（2001-2008）、船場アートカフェディレクター（2004-2013）を歴任。著書『平安京　音の宇宙』でサントリー学芸賞、京都音楽賞、小泉文夫音楽賞、現代音楽の活動で京都府文化賞、アーツマネジメントの成果で日本都市計画家協会賞特別賞、ゆめづくりまちづくり賞（共同）を受賞。令和2年度に京都市が実施した新型コロナウイルス感染症拡大による芸術家等の活動状況調査では、その発案から調査設計・分析に協力する等、京都市の文化行政にも深く関わる。大阪市立大学都市研究プラザ特任教授、インドネシア芸術大学、チュラロンコン大学（タイ）客員教授。

©Janek Magnusson

長屋 和哉（ながや かずや）【第１部・２部出演】

これまでに12枚のアンビエントアルバムをリリース（2021年現在）。
初期の3枚「うつほ」「千の熊野」「魂は空に 魄は地に」は修験の聖地・吉野を拠点に制作された吉野３部作で、極限まで音を削り込んだ静寂の余韻を特徴としている。その後、八ヶ岳に拠点を移し、「シークレットライム」「すべての美しい闇のために」「イリュミナシオン／冥王星」などをリリース。
MUTEK JP、MUTEKモントリール等の国内公演・ヨーロッパを中心とした海外公演に多数参加。その他、パリコレでファッションデザイナーIris Van Herpenと共演。白百合女子大学でサウンドスケープを教える。
https://www.kazuyanagaya.com/

仲 隆裕（なか たかひろ）【第１部出演】

庭園文化史研究、文化財庭園を中心とする遺跡の保存修復・整備に取り組む。元文化庁文化審議会文化財分科会第三専門調査会委員（名勝委員会）。著書に『京都の庭園ー遺跡にみる京都の庭園』（京都市文化財ブックス第5集、1990）、『庭園史をあるくー日本・ヨーロッパ編』（分担執筆、昭和堂、1998）、『夢窓疎石』（分担執筆、春秋社、2012）等、主な設計・計画等に「史跡名勝平等院庭園州浜整備実施設計・施工指導」（京都府宇治市）、「旧上野家庭園保存修復」（京都府舞鶴市）、「シェーンブルン宮殿内石庭保存整備」（オーストリア）等。京都芸術大学 歴史遺産学科 学科長兼教授。

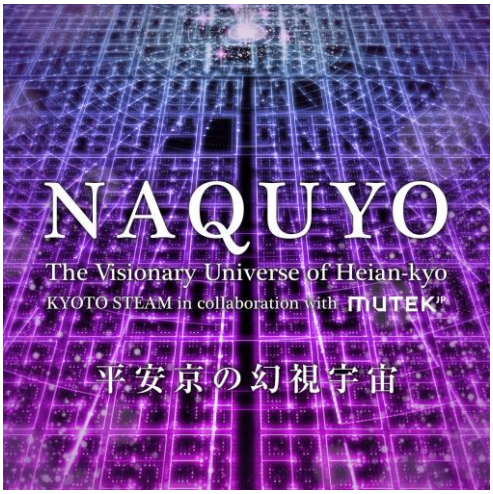
JASPERSEN　Malte（ヤスパゼン・マルテ）【第２部ゲスト出演】

京都産業大学名誉教授。オーディオ制作を担当。1990年よりドイツ公共放送のフリー・ラジオ・プロデューサーとしてラジオ・ドキュメンタリーやラジオ劇を制作している。セレクション作品はBBCやABCシドニーなどで放送されている。
展覧会用のオーディオ・インスタレーション制作として、「曙光の時代－ドイツで開催した日本考古展」（主催：日本文化省、国際交流基金、ライス・エンゲルホルン・マンハイム美術館、ベルリン・フェスティバル、ベルリン・グロピウス・バウ）、「苔の海、砂の中の石－日本の庭園」（主催：ドイツ国際文化交流機関IfA－Institut für Auslandsbeziehungen）ほか。
ドイツオーディオブック賞、イタリアのPrix Italia、スペインのPremios Ondasなどにノミネート。「想定外 ー 3.11複合災害と日本」というラジオ・ドキュメンタリーは、2012年のPrix Italiaにおいてイタリア大統領特別賞を受賞。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－」とは



（2020年度キービジュアル）

「NAQUYO－平安京の幻視宇宙－」は、様々なクリエイターや学者、エンジニアたちとの協力・共同のもと、最先端技術と文化研究を融合させ、1200年前の京都（平安京）の音と響きの仮想的な再現に挑戦するとともに、そのプロセスを広く共有することで、平安京の都市思想や世界観が現代にもたらす意義を共に考える、開かれたアート・プロジェクトです。

「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマに、文化・芸術の新たな可能性と価値を京都から世界に問う文化芸術の祭典「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」を主催する**KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会**と、最先端テクノロジーを用いた音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK」を主催する**MUTEK.JP**が連携し、2020年度－2021年度の２か年にわたる共同プロジェクトとしてタートしました。

平安京の幻視宇宙
1200年前の平安京のサウンドスケープ（音風景）創造プロジェクト

1200年前の京都（平安京）は、どのような音に包まれていたのでしょうか。

平安遷都（794年）から遡ること30年前、平城京から遠く離れた桜島の噴火の音が聞こえたという記述が『続日本紀』にあります。それは、**当時の都を包み込む音環境が、現代からはおよそ考えられないほど、清明に澄み渡るものだったこと**を意味しています。また、平安期に書かれた『枕草子』『源氏物語』『宇津保物語』などには、雅楽や声明、寺院から鳴る梵鐘の音や季節ごとに変わる虫の声、町の喧噪など、日常生活の中で聞こえてくるありふれた音が書きとめられています。これらも、作者たちの創造の源泉だったのかもしれません。

NAQUYOでは、MUTEK.JPが提供する最先端の音楽技術に加え、アンビエントミュージック（環境音楽）の旗手であるサウンドアーティスト・長屋和哉氏、MUTEK Montreal 2020にも出演した京都在住のオーディオビジュアルアーティスト・赤川純一氏、平安京サウンドスケープ論の名著『平安京 音の宇宙』で知られる音楽学者・中川真氏をプロジェクトメンバーに迎え、平安京の音環境に関する学術的な深掘りを行うとともに、電子音楽や立体音響等の最先端技術を活用した**平安京のサウンドスケープ（音風景）の創造にチャレンジ**します。

さらに、単なる音の仮想的な再現にとどまらず、平安京の音環境を見つめ直すことにより、これまで見過ごされていた**都市における音環境の重要性に光を当てていきます**。そこから五感を通じて得られる何かを、未来へのヒントにして創造力を刺激し、京都の新しい文化を耕し、育み、磨いていきます。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

2021年度 NAQUYOプロジェクト概要

2021年度は、**3つのクリエーション・プログラム、2つのアウトプット・プログラムを実施**します。これらのプロセスを通じて、平安京から続く都市・京都が奏でる歴史の音に触れ、未来の京都へのメッセージを紡ぎ出していきます。

クリエーション①　“平安の音”の新たなフィールドレコーディング

2020年度は平安京を包み込んでいた「梵鐘」の調べにフォーカスし、フィールド・レコーディングを実施し、パフォーマンス作品の要として使用しました。2021年度は梵鐘に加え、平安期をイマジネーションできる自然の音や文化の音などをレコーディング。立体音響技術に適応できる最新技術を用いた収録を実施します。（第1回：8月11日実施）

クリエーション②　平安の音研究＆NAQUYO Educationプログラム

2020年度に引き続き、京都芸術大学 歴史遺産学科の協力のもと、文献史料をベースとした平安の音に関する調査・研究を進めます。2021年度はこれに加え、1200年を超える文化都市・京都を未来につないでいくためには、人々が景観を守るのと同じように、「音」を守ることが大切ではないかという考えから、プロジェクトに参画するアーティスト、研究者による人材育成プログラム「NAQUYO Educationプログラム」を実施します。（第１回：8月11日実施）

クリエーション③　NAQUYO Creative Lab　　11月2日～6日実施（予定）

次世代アーティスト・クリエイター発掘・育成を目的に、アドバイスや技術提供をはじめとした育成支援、他のクリエイター／アーティストとの交流、成果発表の機会を創出することに取り組みます。

アウトプット①　NAQUYO#5　オンライン・トークプログラム
平安遷都の日2021－平安宇宙の「音」を聴く－　10月22日実施

アウトプット②　NAQUYO #6　イマーシブプログラム
Installation＆Live Performance（仮称）　12月実施予定

ロームシアター京都サウスホールを舞台に、NAQUYOプロジェクトの集大成となる没入型（イマーシブ）パフォーマンスを展開します。
詳細は、KYOTO STEAM公式webサイトにて順次お知らせします。

“平安の音”の新たなフィールドレコーディング＆Educationプログラムの様子【2021.8.11】　@京都市左京区大原

天台声明（勝林院）

平安期鋳造の梵鐘（勝林院）

音無しの滝

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：上村・西田
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

公式WEB

NAQUYOプロジェクト　2020年度の活動アーカイブ

NAQUYOプロジェクト１年目の活動のアーカイブ映像を公開しています。
以下URLからご確認ください。
https://kyoto-steam.com/2022prologue/program/event04/

NAQUYO#１　オンラインTALK＆LIVE「平安京の幻視宇宙」

平安京の幻視宇宙とは何か？世界的に活躍するサウンドアーティストの長屋和哉氏、サウンドスケープ研究の先駆者･音楽学者の中川真氏を迎えて、平安京の都市思想がもつ現代的な意味について考察することを通して、プロジェクトが目指すものを明らかにしました。

（映像提供：DOMMUNE）

【開催日時】2020年10月22日(木)19:00～23:00
【会場】ライブストリーミングサイト&スタジオ　SUPER DOMMUNE

NAQUYO#2　オンライントークプログラム
「平安京の音宇宙を想像する －文学と美術史料から探るサウンドスケープ－」

京都芸術大学 歴史遺産学科の協力を得て、平安時代の書物･絵巻物等に記された平安京の音風景に関する考察を行うとともに、音楽学者の中川真氏、サウンドアーティストの長屋和哉氏を迎えて、文化研究と最新音楽技術の融合の可能性に迫りました。

【開催日時】2020年12月19日(土)1４:00～16:00
【配信】Zoomウェビナー
【協力】京都芸術大学 歴史遺産学科

NAQUYO#3　NAQUYO Audiovisual Workshop

オーディオビジュアルのクリエイターや，若手クリエイターの人材育成を目的に，NAQUYOプロジェクトのアーティストたちが平安京のサウンドスケープ創造に至るまでの思考や技術を共有し、アートとテクノロジーの融合について学べるワークショップを開催しました。

【開催日時】2021年3月28日(日)14:00～17:00
【会場】ロームシアター京都ノースホール
【協力】Ableton、TouchDesigner by Derivative

NAQUYO#4　NAQUYO LIVE PERFORMANCE

2020年度に取組んだ「平安京サウンドスケープ」に対する学術的・技術的取組の成果として、3組のアーティストによる電子音楽、アンビエント、デジタルアート、コンテンポラリーダンスを組み合わせたライブパフォーマンスを実施しました。オンラインでのリアルタイム配信を同時に行う、ハイブリッド形式で開催。

【開催日時】2021年3月27日(土)18:00～20:20
【会場】ロームシアター京都サウスホール
【配信】 DOMMUNE

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

NAQUYOプロジェクトメンバー

メンバー：　谷崎 テトラ（放送作家／KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー実行委員会チーフディレクター）
長屋 和哉（サウンドアーティスト）
赤川 純一（オーディオビジュアルアーティスト）
岩波 秀一郎（MUTEK.JP 代表）
竹川 潤一（MUTEK.JP クリエイティブ・ディレクター）
Maurice Jones（MUTEK.JP Artistic & Communicationsディレクター）

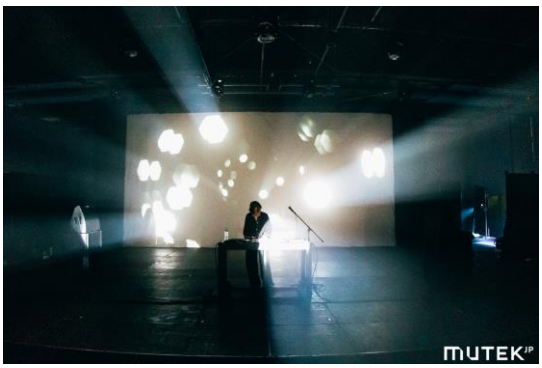
アドバイザー：　中川 真（サウンドアート研究者／大阪市大都市研究プラザ特任教授）
渡辺 広之（京都芸術大学 芸術教養センター 客員教授）

共同事業者

MUTEK.JP
株式会社電通京都支社

MUTEK.JPは、デジタル・クリエイティビティ、電子音楽、オーディオ・ビジュアルアートの創造性の開発、文化芸術活動の普及を目的とした、国際的に名高い芸術文化活動を行う団体である。1999年にカナダ・モントリオールからスタートした“MUTEK”は、文化芸術に関わる才能豊かな人材の発掘・育成をサポートし、常に新しいアイデアやコンテンツの創出支援をコンセプトに掲げ、自由で実験的な表現の場を提供するクリエイティブプラットフォームを構築している。
本拠地のMUTEKでは、世界各地から毎年約3万人以上の来場者がカナダ・モントリオールに訪れ、現在ではモントリオール、メキシコシティー、バルセロナ、ブエノスアイレス、ドバイ、サンフランシスコ、そして東京と、世界7ヶ国で開催される、国際的な大規模フェスティバルへと成長と発展を続けている。日本では、アジア唯一の展開として2016年にMUTEK Japan を設立し、多種多様なプログラムを通じて、様々なアーティスト・クリエーターと交流するクリエイティブ・コミュニティの機会を創出している。
https://mutek.jp/

MUTEK.JP 2019



MUTEK.JP 2018

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－

「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念（京都は耕す、育む、磨く）を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

2021年度は、第2回目となるフェスティバル「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」を京都岡崎地域を中心に開催します。

プロデューサー　平竹 耕三（京都産業大学文化学部教授）

※STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、
Arts（芸術）、Mathematics（数学）

取材等の申込について

取材等をご希望の場合は，下記担当までご連絡ください。
KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
担当：西田（にしだ）・上村（かみむら）
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

画像の提供について

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－の広報用画像を貸し出しております。使用を希望される場合は、公式WEBの使用申込書に必要事項を記載のうえ、メールでKYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会までご連絡ください。申込受付後、3日（祝休日を除く）以内に広報用画像をダウンロードできるURLとパスワードを、メールにてお知らせします。3日間を過ぎても連絡が無い場合は、再度ご連絡頂きますようお願いいたします。

また、記事等に広報用画像を掲載される際には、作家名や作品名等を確認しますので、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に実行委員会までご提出ください。3日（祝休日を除く）程度で内容を確認のうえご連絡します。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト：https://kyoto-steam.com/

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：西田・上村
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業